

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文字語彙 第1・2回 文法 第1・2回	言語知識の基礎の復習・強化
学 科 名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	文字語彙 第3・4回 文法 第3・4回	言語知識の基礎の復習・強化
学 年	1学年	担当教員	丹田充/前田/松本/相馬	3	文字語彙 第5・6回 文法 第5・6回	言語知識の基礎の復習・強化
科 目 名	日本語検定対策	時間数	170単位時間	4	文字語彙 第7・8回 文法 第7・8回	言語知識の基礎の復習・強化
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	文字語彙 第9・10回 文法 第9・10回	言語知識の基礎の復習・強化
使用テキスト名	ドリル&ドリル 日本語能力試験 N2基礎力アップ・スピードマスター 文字・語彙/文法/読解/聴解			6	聴解 第1回 読解 第1回	聴解・読解の基礎の復習・強化
補助教材	BJTビジネス日本語能力テスト聴解・聴読解 パワーポイント スライド			7	聴解 第2回 読解 第2回	聴解・読解の基礎の復習・強化
				8	聴解 第3回 読解 第3回	聴解・読解の基礎の復習・強化
科目概要と科目到達目標				9	聴解 第4回 読解 第4回	聴解・読解の基礎の復習・強化
日本語能力試験 N1～N3合格				10	聴解 第5回 読解 第5回	聴解・読解の基礎の復習・強化
				11	聴解 第6回 読解 第6回	聴解・読解の基礎の復習・強化
				12	聴解 第7回 読解 第7回	聴解・読解の基礎の復習・強化
				13	聴解 第8回 読解 第8回	聴解・読解の基礎の復習・強化
				14	模擬テスト①	問題パターンの理解・解法の攻略
				15	模擬テスト②	問題パターンの理解・解法の攻略
授業の進め方・学習方法・課題				16	模擬テスト③	問題パターンの理解・解法の攻略
①文法の用法について講義を行う ②練習問題を解く 文字・語彙 話題別に単語テストを行い、確認する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	テスト	
				18	模擬テスト④	問題パターンの理解・解法の攻略
				19	模擬テスト⑤	問題パターンの理解・解法の攻略
				20	模擬テスト⑥	問題パターンの理解・解法の攻略
評価方法・成績評価基準				21	セクション1:場面把握問題 問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	セクション1:場面把握問題 問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				23	セクション2:場面把握問題 問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				24	セクション2:場面把握問題 問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				25	セクション3:場面把握問題 問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				26	セクション3:場面把握問題 問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				27	第2部 聴読解テスト 問題分析と問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				28	セクション1:場面把握問題 問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				29	セクション1:場面把握問題 問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				30	セクション2:場面把握問題 問題分析	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				31	セクション2:場面把握問題 問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				実務経験教員の経歴		
				33	セクション3:場面把握問題 問題	ビジネス日本語のコミュニケーション・スキルの向上
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	面接のマナー	面接時の服装を覚える
学 科 名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	Unit1 アルバイトの面接	アルバイト面接での表現を身につける
学 年	1学年	担当教員	今泉香澄/松本亜希子	3	1-1 スモールトーク	本題に入る前の表現を身につける
科 目 名	ビジネス日本語(待遇表現)	時間数	34単位時間	4	1-2 電話アポイントメント	電話の表現を身につける
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	5	1-3 アルバイト面接	面接での表現を身につける
使用テキスト名	Shadowing日本語を話そう！就職・アルバイト・面接編			6	1-4 通し練習	面接での表現を身につける
補助教材	パワーポイント			7	My Page	自分の言葉で伝えることができる
科目概要と科目到達目標				8	Unit2 大学・専門学校入試の面接	入試での面接表現を身につける
アルバイト探し・専門学校/大学入学試験・就職活動における面接に合格する 就職面接の際に面接官が聞きやすく、理解しやすく話せるようにする				9	2-1 大学・専門学校入試の面接①	質問に合った返答を導きだせるようになる
				10	2-1 大学・専門学校入試の面接②	質問に合った返答を導きだせるようになる
				11	2-2 通し練習	面接での表現を身につける
				12	2-2 通し練習	面接での表現を身につける
				13	My Page	自分の言葉で伝えることができる
授業の進め方・学習方法・課題				14	Unit3 就職面接	就職面接の表現を身につける
シャドーイングで「聞きながら復唱する」 質問に対する答えを自分で考える→担当教員が内容確認・訂正をする 模擬面接を行う→よかった点、よくなかった点をクラスで共有する 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	3-1 グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
				16	3-1 グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
				17	3-1 グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
				18	3-1 グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
				19	3-2 個人面接①自己PR	自己PRできるようになる
評価方法・成績評価基準				20	長所・短所に関する質問	長所と短所を人に伝える
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	大学・学業(専門・ゼミ・卒論)に関する質問	学業に関する質問に答えられる
				22	学業以外に関する質問	学業以外に関する質問に答えられる
				23	将来に関する質問	将来について答えられる
				24	技術・能力に関する質問	技術・能力についてアピールできる
				25	外国人に向けての質問	自分の価値観を伝えられる
				26	個人の資質に関する質問	資質に関して答えられる
				27	1分間自己PR	自己PRができるようになる
				28	3-3 個人面接②志望動機	志望動機について書けるようになる
				29	志望動機に関する質問	志望動機を伝えられるようになる
				30	業界・企業に関する質問	業界・企業への質問ができる
実務経験教員の経歴				31	3-4 個人面接③通し練習	自信を持ってできるようになる
				32	My Page	自分の言葉で伝えることができる
				33	この課の表現・言葉 フレーズ集	面接の表現やフレーズを覚える
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第1課 依頼をする	依頼の表現を覚える
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	第1課 依頼を受ける	依頼の表現を覚える
学年	1学年	担当教員	前田美紀/松本亜希子	3	第1課 依頼を断る	依頼の表現を覚える
科目名	ビジネス日本語(待遇演習)	時間数	68単位時間	4	第2課 アポイントメントの申し入れ①	アポイントの取り方について理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	第2課 アポイントメントの申し入れ②	アポイントの取り方について理解する
使用テキスト名	外国人のためのケーススタディで学ぶビジネス日本語 中級			6	第2課 アポイントメントの確認	アポイントの確認の仕方について理解する
補助教材	パワーポイント スライド			7	第3課 謝罪をする	謝る時の表現を覚える
				8	第3課 謝罪をする+今後どうするか伝える	謝る時の表現を覚える
科目概要と科目到達目標				9	第3課 謝罪を受ける	謝る時の表現を覚える
ビジネス場面における実践的なコミュニケーション能力を高める				10	第4課 感謝する①	感謝する時の表現を覚える
				11	第4課 感謝する②	感謝する時の表現を覚える
				12	第4課 感謝を受ける	感謝する時の表現を覚える
				13	第5課 自己紹介	初対面の人と会った時の自己紹介の表現を覚える
				14	第5課 他社紹介	他者を紹介する時の表現を覚える
授業の進め方・学習方法・課題				15	第5課 雑談	雑談をする時の表現を使う
<p>課のテーマに関する文章を読み、新入社員が出会う具体的なケースを想定して自分の意見をまとめる。</p> <p>課のテーマの使用する表現について理解し、会話表現を滑らかに言えるまで練習する</p> <p>ロールカードに提示されている状況を見て、「会話の流れ」に沿った会話を組み立てる。</p> <p>「会話表現」で学んだ表現を適切に使って会話をする。相手のカードは見ないで、自分の役割のカードだけ見て、状況に合った会話を臨機応変に組み立てる。自分の意見をまとめて、周囲の人と話し合う。</p>				16	第6課 社内での日常の挨拶	挨拶の表現を覚える
				17	第6課 社外の人との挨拶	挨拶の表現を覚える
				18	第6課 移動の場面での挨拶	挨拶の表現を覚える
				19	第7課 誘う	誰かを誘う時の表現を覚える
				20	第7課 誘いを受ける	誘いを受ける時の表現を覚える
評価方法・成績評価基準				21	第7課 誘いを断る	誘いを断る時の表現を覚える
<p>①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				22	第8課 指示を受ける	指示を受けた時の表現を覚える
				23	第8課 指示について質問する	指示に対する質問の表現を覚える
				24	第8課 5W1Hで足りない情報を質問する	5W1Hを意識して性格にメモを取る
				25	第9課 どの業務について報告するか伝える	報告をする時の表現を覚える
				26	第9課 報告の前置き	報告をする時の表現を覚える
				27	第9課 悪い報告の前置き	報告をする時の表現を覚える
				28	第10課 申し出をする	申し出る時の表現を覚える
				29	第10課 申し出を受ける	申し出を受ける時の表現を覚える
				30	第10課 申し出を断る	申し出を断る時の表現を覚える
				31	第11課 許可を求める	許可を求める時の表現を覚える
実務経験教員の経歴				32	第11課 許可する	許可するときの表現を覚える
				33	第11課 許可しない	許可しないときの表現を覚える
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	楽しく覚えよう1	中級漢字読み書きの習得
学 科 名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	第1課 新たな出会い	中級漢字読み書きの習得
学 年	1学年	担当教員	相馬幸恵/松本亜希子	3	第2課 楽しい食事・上手な買い物	中級漢字読み書きの習得
科 目 名	日本語文章表現	時間数	85単位時間	4	第3課 時間を生かす	中級漢字読み書きの習得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	第4課 地域を知って生活する	中級漢字読み書きの習得
使用テキスト名	①漢字たまご中級Ⅰ②中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション			6	楽しく覚えよう2	中級漢字読み書きの習得
補助教材	パワーポイント ③初級から中級までSTEP式にほんご練習帳授受表現			7	第5課 緊急事態！	中級漢字読み書きの習得
				8	第6課 地図を広げる	中級漢字読み書きの習得
科目概要と科目到達目標				9	第7課 世代を超えた交流	中級漢字読み書きの習得
文字語彙Aランク 40/60点取得				10	第8課 気持ちを伝える	中級漢字読み書きの習得
スピーチコンテスト等で賞を取得できるようになる				11	読み方に気をつけよう1	中級漢字読み書きの習得
授受表現を理解し、N3合格を目指す				12	第9課 漢字を楽しむ	中級漢字読み書きの習得
聴解力、読解力、要約力を伸ばす				13	第10課 日本を旅する	中級漢字読み書きの習得
作文の書き方を覚え、口頭表現を見に付ける				14	読み方に気をつけよう2	中級漢字読み書きの習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	もう少しやってみよう	中級漢字読み書きの習得
①補助教材を使って、授受表現の説明→例の提示→練習問題				16	テスト	
テーマについて作文を書く→教員が添削する→清書をする→スピーチをする				17	③STEP1 練習問題 1	授受表現の習得
②B1レベルの漢字を習得する				18	③STEP1 練習問題 2	授受表現の習得
				19	③STEP2 練習問題 1	授受表現の習得
				20	③STEP2 練習問題 2	授受表現の習得
評価方法・成績評価基準				21	③STEP3 練習問題 1	授受表現の習得
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	③STEP3 練習問題 2	授受表現の習得
【成績評価基準】				23	③STEP4 練習問題 1	授受表現の習得
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	③STEP4 練習問題 2	授受表現の習得
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	テスト	
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	作文の書き方について	作文の書き方を覚える
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	UNIT03 スピーチ(1)意見を言おう!	作文の書き方を覚える
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	UNIT03 スピーチ(1)日本の習慣について不思議に思うこと	作文の書き方を覚える
				29	400字の作文を書く	作文の書き方を覚える
				30	スピーチ	口頭表現を効果的に身に付ける
				31	UNIT03 スピーチ(1)スピーチの流れと表現を勉強しよう!	作文の書き方を覚える
実務経験教員の経歴				32	UNIT03 スピーチ(1)異文化体験を通して	作文の書き方を覚える
				33	800字~1000字の作文を書く	作文の書き方を覚える
				34	スピーチ テスト	口頭表現を効果的に身に付ける

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	1.ペンギン、抜け出す	聞き取り、筆記、内容理解
学 科 名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	2.ピアガーデン	聞き取り、筆記、内容理解
学 年	1学年	担当教員	松本亜希子/前田美紀	3	3.心を持つ掃除機	聞き取り、筆記、内容理解
科 目 名	時事日本語	時間数	34単位時間	4	4.避難訓練	聞き取り、筆記、内容理解
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	5	5.ビール開発	聞き取り、筆記、内容理解
使用テキスト名	中級から始めるニュースの日本語 聴解40			6	6.お盆の帰省ラッシュ	聞き取り、筆記、内容理解
補助教材	パワーポイント スライド			7	7.眠い日本人	聞き取り、筆記、内容理解
				8	8.北海道で激しい雷雨	聞き取り、筆記、内容理解
科目概要と科目到達目標				9	9.ネットにいい動画	聞き取り、筆記、内容理解
JLPT聴解や読解の対策、及び一般常識の習得				10	10.ジューンブライド	聞き取り、筆記、内容理解
				11	11.優先席2倍に増設	聞き取り、筆記、内容理解
				12	12.日本は安全な国	聞き取り、筆記、内容理解
				13	13.駅のホーム事故	聞き取り、筆記、内容理解
				14	前期テスト	聞き取り、筆記、内容理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	14.インフラの老朽化	聞き取り、筆記、内容理解
実際のニュースを聞き、特有の言い回しや単語を覚える				16	15.高校生の留学支援	聞き取り、筆記、内容理解
				17	16.コインホルダー	聞き取り、筆記、内容理解
				18	17.自殺する若者	聞き取り、筆記、内容理解
				19	18.スーパー銭湯無銭宿泊	聞き取り、筆記、内容理解
				20	19.コンビニの海外店舗数	聞き取り、筆記、内容理解
評価方法・成績評価基準				21	20.熱中症に注意	聞き取り、筆記、内容理解
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	21.電気料金値上げ	聞き取り、筆記、内容理解
				23	22.電子書籍、マンガ	聞き取り、筆記、内容理解
				24	23.防犯カメラで逮捕	聞き取り、筆記、内容理解
				25	24.独身男性6割以上	聞き取り、筆記、内容理解
				26	25.レバ刺し禁止へ	聞き取り、筆記、内容理解
				27	26.銅像19体に赤い服	聞き取り、筆記、内容理解
				28	27.企業による出張授業	聞き取り、筆記、内容理解
				29	28.高層マンション	聞き取り、筆記、内容理解
				30	29.飼い犬に税金	聞き取り、筆記、内容理解
				31	30.変わった味のソフトクリーム	聞き取り、筆記、内容理解
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				32	31.東京都の帰宅困難者	聞き取り、筆記、内容理解
実務経験教員の経歴				33	32.福岡市職員に禁酒例	聞き取り、筆記、内容理解
				34	後期テスト	聞き取り、筆記、内容理解

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	お辞儀とあいさつ	日本でのビジネスマナーを身に付ける
学 科 名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	1 そこまで正直でなくても・・・。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
学 年	1学年	担当教員	今泉香澄/相馬幸恵	3	2 ほうれんそうの前に確認を！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
科 目 名	日本事情	時間数	34単位時間	4	3 待つ身になってみないとね・・・。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	5	4 書き出しが肝心なのです、	日本でのビジネスマナーを身に付ける
使用テキスト名	マンガで体験！ にっぽんのカイシャ～ビジネス日本語を实践する～			6	5 何を聴きたいのかを、最初にね。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
補助教材	パワーポイント スライド			7	6 その呼び方、ちょっと待った！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				8	7 電話はメモする習慣をつけて！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
科目概要と科目到達目標				9	8 4時と14時は大違い。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
<p>ビジネス日本語能力—日本のビジネスの現場の中で実際に行われている様々なコミュニケーションを理解し、自らも適切に表現し、周りの人と十分に意思疎通することができる能力を養う。</p> <p>日本の企業で働くイメージをつけ、どのような能力が必要なのかを自分で考え、問題解決能力を養う。</p>				10	9 だから、順番は大切なんですって！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				11	10 有給休暇！心奪われる響きだけれど。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				12	11 日本語は難しい！？言葉の大切さ	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				13	12 あれ？みんな、まだ帰らないの？	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				14	13 スケジュール管理はしっかりと。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
授業の進め方・学習方法・課題				15	14 そこはちょっと思い切って！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
<p>悪い例のマンガを読み、問題について考える。</p> <p>自分ならどうするか、意見をまとめ、グループワークをする。</p> <p>就職したい職種・企業を調べ、発表する。</p>				16	15 大事なものは日時とテーマ。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				17	16 最初の一言が肝心！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				18	17 いくら地図が苦手でも・・・。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				19	18 何を話せばいいのかな？	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				20	19 ほうれんそうは社外にも。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
評価方法・成績評価基準				21	20 名刺はきちんと整理しておかないと・・・。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
<p>①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				22	21 仕事のメールは顔文字??	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				23	22 初心、忘るべからず！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				24	23 相手の名前は重要だから。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				25	24 急いでいる人もいるからね。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				26	25 聞く耳を持つことも大切。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				27	26 質問するのは、恥ずかしいことじゃない。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				28	27 いくら先輩だからって・・・。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				29	28 「できません」というその前に。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				30	29 準備は怠りなく。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				31	30 何はともあれ、相談だ！	日本でのビジネスマナーを身に付ける
実務経験教員の経歴				32	31 「ここは日本だね？」と思うかもしれないけど	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				33	32 おいてきぼりは、いけません。	日本でのビジネスマナーを身に付ける
				34	33 テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Unit1 日本ってどんな国? Section1面積、人口、四季	日本についての基本的な知識情報の取得
学 科 名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	Unit1 日本ってどんな国? Section2季節や気候の特徴	日本についての基本的な知識情報の取得
学 年	1学年	担当教員	前田美紀/松本亜希子	3	Unit2 都市の暮らし・地方の暮らし Section1日本の都市	日本についての基本的な知識情報の取得
科 目 名	日本社会と文化	時間数	68単位時間	4	Unit2 都市の暮らし・地方の暮らし Section2地方の暮らしを豊かに	日本についての基本的な知識情報の取得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Unit3 日本の旅を楽しもう Section1新幹線	日本についての基本的な知識情報の取得
使用テキスト名	クローズアップ日本事情15			6	Unit3 日本の旅を楽しもう Section2列車の旅を快適に	日本についての基本的な知識情報の取得
補助教材	パワーポイント			7	Unit4 いただきます! Section1食品、給食	日本についての基本的な知識情報の取得
				8	Unit4 いただきます! Section2世界で通じる日本語	日本についての基本的な知識情報の取得
科目概要と科目到達目標				9	Unit5 季節を楽しむ年中行事 section1日本の行事	日本についての基本的な知識情報の取得
日本の文化について理解し、説明できるようになる				10	Unit5 季節を楽しむ年中行事 section2年中行事と食べ物	日本についての基本的な知識情報の取得
				11	Unit6 知っておきたい日本の歴史 Section1縄文～平成	日本についての基本的な知識情報の取得
				12	Unit6 知っておきたい日本の歴史 Section2京都奈良	日本についての基本的な知識情報の取得
				13	Unit7 伝統文化体験 Section1和歌・雅楽・歌舞伎	日本文化の習得と母国文化との比較
				14	Unit7 伝統文化体験 Section2能楽・茶道・華道	日本文化の習得と母国文化との比較
授業の進め方・学習方法・課題				15	発表①	
各ユニットのタスクは、事前に自分で調べておく。 調べたものをレポートに書いて提出する。 期末には発表する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Unit8現代文化とポップカルチャー Section1アニメ	日本の現代文化についての知識習得
				17	Unit8現代文化とポップカルチャー Section2ゆるキャラ	日本の現代文化についての知識習得
				18	Unit9 スポーツの楽しみ方 Section1相撲	日本のスポーツ文化についての情報取得
				19	Unit9 スポーツの楽しみ方 Section2野球	日本のスポーツ文化についての情報取得
				20	Unit10前進を続ける科学技術 Section1 日本の科学技術	世界から見た日本についての知識習得
評価方法・成績評価基準				21	Unit10前進を続ける科学技術 Section2人間の未来	世界から見た日本についての知識習得
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Unit11 地球のためにできること Section1地球温暖化	世界から見た日本についての知識習得
				23	Unit11 地球のためにできること Section2知恵と工夫	世界から見た日本についての知識習得
				24	Unit12 教育と子供たち Section1学校制度	世界から見た日本についての知識習得
				25	Unit12 教育と子供たち Section2学校生活	世界から見た日本についての知識習得
				26	Unit13産業構造と経済 Section1 日本の産業構造	世界から見た日本についての知識習得
				27	Unit13産業構造と経済 Section2 日本経済の歴史	世界から見た日本についての知識習得
				28	Unit14政治と憲法 Section1日本の憲法	世界から見た日本についての知識習得
				29	Unit14政治と憲法 Section2国会と選挙	世界から見た日本についての知識習得
				30	Unit15多文化共生社会を目指して Section1外国人滞在者	世界から見た日本についての知識習得
				31	Unit15多文化共生社会を目指して Section2外国人観光客	世界から見た日本についての知識習得
実務経験教員の経歴				32	Unit15多文化共生社会を目指して Section3多文化共生社会	世界から見た日本についての知識習得
				33	テスト	
				34	発表②	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	01 働かない働きアリ？	多様な視点考え方に触れる
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	[読み物1]アリとキリギリス	テーマについて考え、ディスカッションをする
学年	1学年	担当教員	丹田充	3	[読み物2]働かないアリにも働き	多様な視点考え方に触れる
科目名	日本語翻訳	時間数	34単位時間	4	[コラム]イソップ童話	テーマについて考え、ディスカッションをする
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	02 血液型	多様な視点考え方に触れる
使用テキスト名	日本語学習者のための読解厳選テーマ10[中上級]			6	[読み物1]血液占いは当たる？	テーマについて考え、ディスカッションをする
補助教材	パワーポイント			7	[読み物2]血液型で判断してもよいのか	多様な視点考え方に触れる
科目概要と科目到達目標				8	[コラム]血液型はいくつある？	テーマについて考え、ディスカッションをする
日本語能力試験にも出題されるエッセイ、論説文、新聞記事、物語の形式に慣れる				9	03 言葉の意味	多様な視点考え方に触れる
読解60点満点中40点取得				10	[読み物1]私の言葉で辞書を編む	テーマについて考え、ディスカッションをする
テーマについて考えたり、クラスメートとディスカッションしたりして「文章を読む」「自分の考えをまとめ、話す」「他社の考えを聞く」というプロセスの中で、より広い視野を獲得し、テーマに主体的に考え続けていく力を養う。				11	[読み物2]「情けは人のためならず」の意味	多様な視点考え方に触れる
授業の進め方・学習方法・課題				12	[コラム]変わる言葉の意味	テーマについて考え、ディスカッションをする
①準備 4コマ漫画の内容について日本語で話せるか確認 → ②黙読と答えの記入（辞書使用可 巻末の語彙リスト確認可）→③音読と答えの確認 → ④読み物1から読み物2へ → ⑤読み物2を黙読と答えの記入 → ⑥発展 これまで学習したものをもう一度考えたり、話したりする				13	04 IT社会	多様な視点考え方に触れる
				14	[読み物1]両親との約束	テーマについて考え、ディスカッションをする
				15	[読み物2]IT断食	多様な視点考え方に触れる
				16	[コラム]インターネットは誰の発明？	テーマについて考え、ディスカッションをする
				17	テスト	
				18	05 喫煙	多様な視点考え方に触れる
				19	[読み物1]祖父とキセルの記憶	テーマについて考え、ディスカッションをする
				20	[読み物2]喫煙VS禁煙 解決は？	多様な視点考え方に触れる
評価方法・成績評価基準				21	[コラム]喫煙の広がりとは漫画・アニメでも？	テーマについて考え、ディスカッションをする
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	06 Kawaii	多様な視点考え方に触れる
【成績評価基準】				23	[読み物1]世界共通語となった「カワイイ」	テーマについて考え、ディスカッションをする
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	[読み物2]ミッキーマウス vs. キティ	多様な視点考え方に触れる
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	[コラム]「かわいい」は赤ちゃんの戦略	テーマについて考え、ディスカッションをする
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	07 若者	多様な視点考え方に触れる
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	[読み物1]若者のクルマばなれ	テーマについて考え、ディスカッションをする
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	[読み物2]ギャルの力	多様な視点考え方に触れる
				29	[コラム]〇〇世代	テーマについて考え、ディスカッションをする
				30	08 いじめ	多様な視点考え方に触れる
				31	[読み物1]いじめられている君へ	テーマについて考え、ディスカッションをする
実務経験教員の経歴				32	[読み物2]なぜクラス全員が加害者になるのか	多様な視点考え方に触れる
				33	[コラム]いじめ防止対策推進法	テーマについて考え、ディスカッションをする
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	01 日本の生活① 02 ラジオ体操	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	03 今年の漢字 04 イノシシやシカを食べよう	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
学年	1学年	担当教員	相馬幸恵	3	05 ようこそ不人気県へ 06 日本の生活②	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
科目名	日本語翻訳	時間数	34単位時間	4	07 ハシビロコウ 08 ビブリアバトル	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	09 今日の女子高校生 10 デートのお金はだれが出す？	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
使用テキスト名	日本語学習者のための読解厳選テーマ10[初中級]			6	11 日本の生活③ 12 「親切な店員さん」	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
補助教材	パワーポイント			7	13 コミックマーケット 14 変化を続けるバレンタインデー	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
科目概要と科目到達目標				8	15 化粧の力 16 日本の生活④	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
日本語能力試験にも出題されるエッセイ、論説文、新聞記事、物語の形式に慣れる				9	17 本当の忍者	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
読解60点満点中40点取得				10	18 握り寿司、しょう油のつけ方は？	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
テーマについて考えたり、クラスメートとディスカッションしたりして「文章を読む」「自分の考えをまとめ、話す」「他社の考えを聞く」というプロセスの中で、より広い視野を獲得し、テーマに主体的に考え続けていく力を養う。				11	19 くまモン	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
授業の進め方・学習方法・課題				12	20 人間にしかできない仕事	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
①準備 わからない言葉の確認 → ②黙読と答えの記入 (辞書使用可)				13	21 日本の生活⑤	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
巻末の語彙リスト確認可) → ③音読と答えの確認 → ④テーマについて考え・会話				14	22 北枕は縁起が悪い？	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
評価方法・成績評価基準				15	テスト	
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				16	23 マスク症候群	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
【成績評価基準】				17	24 飲みケーション	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				18	2-1 シンデレラ	多様な視点考え方に触れる
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				19	2-1 シンデレラ	テーマについて考え、ディスカッションをする
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				20	2-2 ネコはネコにかえる	多様な視点考え方に触れる
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				21	2-2 ネコはネコにかえる	テーマについて考え、ディスカッションをする
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	2-3 ツアルツァーナムジム	多様な視点考え方に触れる
実務経験教員の経歴				23	2-3 ツアルツァーナムジム	テーマについて考え、ディスカッションをする
				24	2-4 花咲かじいさん	多様な視点考え方に触れる
				25	2-4 花咲かじいさん	テーマについて考え、ディスカッションをする
				26	2-5 野口英世	多様な視点考え方に触れる
				27	2-5 野口英世	テーマについて考え、ディスカッションをする
				28	小テスト	
				29	3-1 4コマ漫画「豆柴くん」	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
				30	3-2 宝物を探せ1	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
				31	3-3 カタカナ・クロスワード	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
				32	3-4 荷物を受け取る	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
				33	3-5 詩を読む	多様な視点考え方に触れる・テーマについて考え、ディスカッションをする
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	面接のマナー	面接時の服装を覚える
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	Unit1 アルバイトの面接	アルバイト面接での表現を身につける
学年	1学年	担当教員	今泉香澄/松本亜希子	3	1-1 スモールトーク	本題に入る前の表現を身につける
科目名	日本語通訳	時間数	34単位時間	4	1-2 電話アポイントメント	電話の表現を身につける
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	5	1-3 アルバイト面接	面接での表現を身につける
使用テキスト名	Shadowing日本語を話そう！就職・アルバイト・面接編			6	1-4 通し練習	面接での表現を身につける
補助教材	パワーポイント			7	My Page	自分の言葉で伝えることができる
科目概要と科目到達目標 日本語の発音をネイティブと同じようになるように意識的に繰り返し練習する 就職面接の際に面接官が聞きやすく、理解しやすく話せるようにする				8	Unit2 大学・専門学校入試の面接	入試での面接表現を身につける
				9	2-1 大学・専門学校入試の面接①	質問に合った返答を導きだせるようになる
授業の進め方・学習方法・課題 シャドーイングで「聞きながら復唱する」 ①教科書を見ながら音声に合わせてシャドーイング→②教科書を見ず、音声に合わせてシャドーイング ③一人ずつ発音する→担当教員が内容確認・訂正をする、発音の訂正をする				10	2-1 大学・専門学校入試の面接②	質問に合った返答を導きだせるようになる
				11	2-2 通し練習	面接での表現を身につける
				12	2-2 通し練習	面接での表現を身につける
				13	My Page	自分の言葉で伝えることができる
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				14	Unit3 就職面接	就職面接の表現を身につける
				15	3-1 グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
				16	3-1 グループ面接	グループ面接でのアピールの仕方を身につける
				17	3-1 グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				18	3-1 グループディスカッション	自分の意見を持ち、人に伝える
				19	3-2 個人面接①自己PR	自己PRできるようになる
				20	長所・短所に関する質問	長所と短所を人に伝える
				21	大学・学業(専門・ゼミ・卒論)に関する質問	学業に関する質問に答えられる
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	学業以外に関する質問	学業以外に関する質問に答えられる
				23	将来に関する質問	将来について答えられる
				24	技術・能力に関する質問	技術・能力についてアピールできる
				25	外国人に向けての質問	自分の価値観を伝えられる
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				26	個人の資質に関する質問	資質に関して答えられる
				27	1分間自己PR	自己PRができるようになる
				28	3-3 個人面接②志望動機	志望動機について書けるようになる
				29	志望動機に関する質問	志望動機を伝えられるようになる
実務経験教員の経歴				30	業界・企業に関する質問	業界・企業への質問ができる
				31	3-4 個人面接③通し練習	自信を持ってできるようになる
				32	My Page	自分の言葉で伝えることができる
				33	この課の表現・言葉 フレーズ集	面接の表現やフレーズを覚える
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに、何故メイクするのか？授業進度・評価方法について	授業を進めるにあたっての基本ルールの理解
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	自己紹介・メイクについて絡ませながら自己紹介・自分流メイク	これまでの自分のメイクについて
学年	1年生	担当教員	加藤広美	3	普段のメイクと仕事メイクの違いについて	ビジネスメイクについての理解
科目名	リクルートメイク実習 I	時間数	34単位時間	4	接客業メイクについて 業種別メイク	ビジネスメイクについての理解
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	メイク方法 下地についての実習
使用テキスト名	なし			6	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	メイク方法 ベースについての実習
補助教材	なし			7	顔立ちからのメイク方法 ・眉	メイク方法 眉についての実習
				8	顔立ちからのメイク方法 ・目	メイク方法 アイメイクについての実習
科目概要と科目到達目標				9	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	メイク方法 アイホールについての実習
就職活動面接の際に良い印象を持たせ、高感度の高いメイクを目指す。				10	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	メイク方法 アイホールについての実習
				11	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	メイク方法 アイラインについての実習
				12	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	メイク方法 チークについての実習
				13	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	メイク方法 鼻筋メイクについての実習
				14	顔立ちからのメイク方法 ・コンプレックスからメイク方法 目	ワンポイントメイクの実習
				15	顔立ちからのメイク方法 ・コンプレックスからメイク方法 鼻	ワンポイントメイクの実習
授業の進め方・学習方法・課題				16	まとめ	
授業の前半でメイク方法について講義し、授業後半で実習を行う 学生は各自メイク道具を持ち込み、時間内に仕上げる。 対面授業と遠隔授業の併用実施				17	試験	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	1	Chapter1 Wordの基本ー(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学年	1学年	担当教員	松本亜希子	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
科目名	PC実習	時間数	68単位時間	3	Chapter2 文字入力と基本操作ー(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	文字入力と基本操作ー(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			5	文字入力と基本操作ー(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
補助教材	Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集 パワーポイント			6	文字入力と基本操作ー(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
科目概要と科目到達目標				7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
				8	Chapter3 文書の編集ー(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
Word処理技能検定3級取得				9	文書の編集ー(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
Excel表計算処理技能認定試験3級 取得				10	文書の編集ー(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集ー(罫線処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
				13	Chapter4 文書の印刷ー(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷ー(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
授業の進め方・学習方法・課題				15	文書の印刷ー(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方				17	Chapter5 文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ				18	文書の作成ー(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	文書の作成ー(箇条書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
				21	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
①授業への積極的参加40% ②授業態度20% ③提出物20% ④検定取得20%				22	文書の作成ー(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
①検定取得40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
【成績評価基準】				24	Chapter6 表を使った文書の作成ー(学習する内容・表の作成)	表の作成について
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	表を使った文書の作成ー(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	表を使った文書の作成ー(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成ー(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	図形や画像を使った文書の作成ー(図形の作成)②	図形や画像作成について
実務経験教員の経歴				30	形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
				31	形や画像を使った文書の作成ー(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について
				32	形や画像を使った文書の作成ー(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
学年	1年	担当教員	坂上/相馬/北村/矢後	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
科目名	国際理解 I	時間数	68単位時間	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名	SDGs見るだけノート			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
補助教材	SDGs探求ワークブック			7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
【成績評価基準】				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	I 学習の前に 1目標設定	目標を定める
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	II 就活能力 1自己紹介	就活能力をつける
学年	1年生	担当教員	相馬幸恵	3	II 就活能力 2自己分析	就活能力をつける
科目名	就職実務 I	時間数	34単位時間	4	II 就活能力 2自己分析	就活能力をつける
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	II 就活能力 3業界・業種・職種	就活能力をつける
使用テキスト名	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力			6	II 就活能力 3業界・業種・職種	就活能力をつける
補助教材	パワーポイント			7	II 就活能力 4勤務の条件	就活能力をつける
				8	II 就活能力 4勤務の条件	就活能力をつける
科目概要と科目到達目標				9	II 就活能力 5自己PR	就活能力をつける
日本企業で働く際に必要とされる習慣やマナーを身につける。				10	II 就活能力 5自己PR	就活能力をつける
入社後に遭遇するであろう異文化間の問題とそれらの解決する策を見つける。				11	II 就活能力 6志望動機	就活能力をつける
				12	II 就活能力 6志望動機	就活能力をつける
				13	II 就活能力 7履歴書・送付状	就活能力をつける
				14	II 就活能力 7履歴書・送付状	就活能力をつける
授業の進め方・学習方法・課題				15	II 就活能力 8面接の受け方	就活能力をつける
何のために学ぶかについて説明する				16	II 就活能力 8面接の受け方	就活能力をつける
ワークシートを記入する→添削する→清書する				17	III 社会文化能力 1異文化理解	社会文化能力をつける
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	III 社会文化能力 2日本の地理	社会文化能力をつける
				19	IV 社会人基礎力 1プレゼンテーション	社会人基礎力をつける
				20	IV 社会人基礎力 1プレゼンテーション	社会人基礎力をつける
評価方法・成績評価基準				21	IV 社会人基礎力 2チームビルディング	社会人基礎力をつける
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	IV 社会人基礎力 2チームビルディング	社会人基礎力をつける
【成績評価基準】				23	IV 社会人基礎力 3ケーススタディ①	社会人基礎力をつける
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	IV 社会人基礎力 3ケーススタディ①	社会人基礎力をつける
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	IV 社会人基礎力 4ケーススタディ②	社会人基礎力をつける
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	IV 社会人基礎力 4ケーススタディ②	社会人基礎力をつける
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	IV 社会人基礎力 5報告・連絡・相談	社会人基礎力をつける
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	IV 社会人基礎力 5報告・連絡・相談	社会人基礎力をつける
実務経験教員の経歴				29	V 仕事の日本語力 1敬語 2挨拶	仕事の日本語力を身につける
				30	V 仕事の日本語力 3電話うける 4電話かける	仕事の日本語力を身につける
				31	V 仕事の日本語力 5電話アポイントをとる	仕事の日本語力を身につける
				32	V 仕事の日本語力 6訪問 7会議	仕事の日本語力を身につける
				33	V 仕事の日本語力 8ビジネスメール	仕事の日本語力を身につける
				34	レポート	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	1	はじめに マナーの必要性	身だしなみについての理解と実習
学年	1年生	担当教員	北村裕美/相馬幸恵	2	身だしなみについて おしゃれと身だしなみについて	身だしなみについての理解と実習
科目名	ビジネスマナー演習	時間数	34単位時間	3	身だしなみについて ビデオ撮影	身だしなみについての理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	身だしなみについて ビデオ撮影 チェック	身だしなみについての理解と実習
使用テキスト名	実践ビジネスマナー			5	お辞儀 ・立ち方	美しい挨拶についての理解と実習
補助教材				6	お辞儀 ・立ち方 3つのお辞儀 ・使い方	美しい挨拶についての理解と実習
科目概要と科目到達目標				7	お辞儀 ①	美しい挨拶についての理解と実習
				8	お辞儀 ②敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
				9	お辞儀 ③最敬礼	美しい挨拶についての理解と実習
社会人としての立居振舞や面接や初対面の方がへの挨拶の仕方など 基本的なビジネスマナーの理解と習得				10	お辞儀 ビデオ撮影	美しい挨拶についての理解と実習
				11	お辞儀 ビデオ撮影チェック	美しい挨拶についての理解と実習
				12	入退室の仕方 ・ドアの開閉の仕方 ・表情 ・身だしなみ等	入退室マナーについての理解と実習
				13	入退室の仕方 ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
				14	入退室の仕方 ビデオ撮影チェック	入退室マナーについての理解と実習
				15	椅子の座り方 ・面接対応①	入退室マナーについての理解と実習
授業の進め方・学習方法・課題 授業前半には講義を行うが、後半はロールプレイングを行い、基本的な所作などを身に付ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	椅子の座り方 ・面接対応②	入退室マナーについての理解と実習
				17	一連の動作のロールプレイ ・入退室 お辞儀 着席 面接対応①練習	入退室マナーについての理解と実習
				18	一連の動作のロールプレイ ・入退室 お辞儀 着席 面接対応②練習	入退室マナーについての理解と実習
				19	ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
				20	ビデオ撮影	入退室マナーについての理解と実習
評価方法・成績評価基準				21	ビデオ撮影 チェック	入退室マナーについての理解と実習
				22	ビデオ撮影 チェック	入退室マナーについての理解と実習
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	言葉遣い ・敬語の使い方 尊敬語・謙譲語・丁寧語	敬語についての理解と実習
				24	言葉遣い ・敬語の使い方 間違った使い方 ・二重敬語	敬語についての理解と実習
				25	言葉遣い ・接客用語	敬語についての理解と実習
				26	言葉遣い 筆記テスト	敬語についての理解と実習
				27	言葉遣い 解答と解説	敬語についての理解と実習
				28	来客対応 ・案内の要領 ・応接室	来客対応についての理解と実習
				29	来客対応 ・エレベーター ・廊下	来客対応についての理解と実習
				30	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影①	来客対応についての理解と実習
				31	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影②	来客対応についての理解と実習
				32	来客対応 ・ロールプレイ ビデオ撮影チェック	来客対応についての理解と実習
実務経験教員の経歴				33	まとめ	
				34	試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	1	Unit1A People	Introducing yourself
				2	Unit1B People	
学 年	1学年	担当教員	Mark	3	Unit2A Behavior	Greeting people and asking how they are
科 目 名	Speaking I	時間数	34時間	4	Unit2B Behavior	
開講期間	通年	単位数	—	5	Review	
使用テキスト名	Speak now2			6	Unit3A Shopping	Talking about things you need
補助教材				7	Unit3B Shopping	
科目概要と科目到達目標				8	Unit1～Unit3 Review(except 4)	
				9	Unit4A Vacation	Giving advice
科目概要:会話 科目到達目標:日常で使える会話を身につけ、外国人とコミュニケーションをとることができる 留学生である利点を生かし、就職でも使える英語力を身に着ける				10	Unit4B Vacation	
				11	Unit5A Heros	Agreeing or disagree with an opinion
				12	Unit5B Heros	
授業の進め方・学習方法・課題				13	Review	
				14	Unit6A the Mind	Expressing degrees of certainty
音読やダイアログ、スタディケースを使用した内容理解 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	Unit6B the Mind	
				16	Unit4～Unit6 Review	
				17	Unit7A City Life	Asking for and giving directions
18	Unit7B City Life					
評価方法・成績評価基準				19	Unit8A All about you	Inviting and offering with Do you want
				20	Unit8B All about you	
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	Review and Test Practice	
				22	Assessment	
				23	Unit9 A Change	Making and responding to requests
				24	Unit9 B Change	
				25	Unit7～Unit9 Review	
				26	Unit10 A Health	Talking about health problems
				27	Unit10 B Health	
				28	Unit11 A Achievement	Offering compliments about things and abilities
				29	Unit11 B Achievement	
				30	Review	
31	Unit12 A At the Movies	Taking and leaving a message				
32	Unit12 B At the Movies					
実務経験教員の経歴				33	Review and Test Practice	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション 日本語ドラマのイメージ	
学科名	日本語ビジネス科(2年制)	必須・選択	必須	2	ドラマからみる「喜怒哀楽」 「喜」①	「喜」の表現を学ぶ
学年	1学年	担当教員	相馬幸恵	3	ドラマからみる「喜怒哀楽」 「怒」②	「怒」の表現を学ぶ
科目名	視聴覚日本語	時間数	34単位時間	4	ドラマからみる「喜怒哀楽」 「哀」③	「哀」の表現を学ぶ
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	ドラマからみる「喜怒哀楽」 「楽」④	「楽」の表現を学ぶ
使用テキスト名				6	ドラマからみる「日本 社会」財閥、事件など	社会問題や時事問題の把握
補助教材	POWERPOINT SLIDE			7	ドラマからみる「人間関係」	日本特有の人間関係の理解
				8	ドラマ制作について	日本ドラマ制作を通して表現理解
科目概要と科目到達目標				9	役割分担や作業の確認	
① 視聴覚教材を通して日本語の独特の言い回しや時事言語、流行語などを理解できるようになる。 ② 日本語で状況に合わせた会話例を作ることができ、自然な発音で発話することができる。				10	作業1 シナリオを考える①	日本ドラマ制作を通して表現理解
				11	作業1 シナリオを考える②	日本ドラマ制作を通して表現理解
				12	作業1 シナリオを考える③	日本ドラマ制作を通して表現理解
				13	作業1 シナリオを考える④	日本ドラマ制作を通して表現理解
				14	作業2 映像に合わせてセリフを練習する①	日本ドラマ制作を通して表現理解
				15	作業2 映像に合わせてセリフを練習する②	日本ドラマ制作を通して表現理解
授業の進め方・学習方法・課題 文法や語彙の解説の後、必ずロールプレイを行う。 いろんなビジネスシーンで使用できるよう様々なタスクを用意する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	作業3 シナリオに合った映像を撮影する①	日本ドラマ制作を通して表現理解
				17	作業3 シナリオに合った映像を撮影する②	日本ドラマ制作を通して表現理解
				18	作業3 シナリオに合った映像を撮影する③	日本ドラマ制作を通して表現理解
				19	作業3 シナリオに合った映像を撮影する④	日本ドラマ制作を通して表現理解
				20	作業3 シナリオに合った映像を撮影する⑤	日本ドラマ制作を通して表現理解
評価方法・成績評価基準				21	作業4 編集をする①	日本ドラマ制作を通して表現理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	作業4 編集をする②	日本ドラマ制作を通して表現理解
				23	作業4 編集をする③	日本ドラマ制作を通して表現理解
				24	作業4 編集をする④	日本ドラマ制作を通して表現理解
				25	作業4 編集をする⑤	日本ドラマ制作を通して表現理解
				26	作業5 日本語/日本語字幕を付ける①	映像字幕実習
				27	作業5 日本語/日本語字幕を付ける②	映像字幕実習
				28	作業5 日本語/日本語字幕を付ける③	映像字幕実習
				29	作業5 日本語/日本語字幕を付ける④	映像字幕実習
				30	発表会準備 あらすじパンフ作成①	
				31	発表会準備 あらすじパンフ作成②	
実務経験教員の経歴				32	制作ドラマ 発表会①	日本語表現についての評価
				33	制作ドラマ 発表会②	日本語表現についての評価
				34	発表会 振り返り	